



空想
実験

-EXTRA-

2002
VOL. 01

CIRCLE KUBESOU ZIKKEN
Presents



空想実験EX

VOL. 1

introduction

-前文-

ど一も、常人です。

今回は前から言っていた様に、30ページ程度のシリーズ本を出すこととなりました。一応、創刊号という事でということで、「EXTRA」シリーズと名付ける事にします。

これは、短編漫画、小説、一枚絵、その他企画物などの受け皿として、また従来の80ページを超える空想実験シリーズのみでは、僕としてもつらいものがあるので、もうちょっと自由に作れる媒体として作りました。

と言っても、今までのシリーズも勿論これからも随時出す予定なので、交互に出すかなって感じて考えてくれればいいと思います。

今回の本を作ったのは、漫画に関しては短編だと各シーンのパートがかなり限定されて、このシーンを何ページ入れるとこっちのシーンがちょっとしか取れなかったりと、そういう面では色々難しく感じました。でもその事はもともとわかっていた事なんで、いつものボリュームに比べたら物足りないと思いますが、こちらの方はこういう作りということでご容赦下さい。

後もうちょっとレイアウトとかも色々したかったんですが、この文を書いている時点で隣のDOS-V機のハードディスクが壊れて、メールとかも全て無くなってしまい、もしかしたらその間に送って頂いたメールとかの返信ができてないケースがあるかもしれないので、大変お手数ですがメールの返信ができてない場合は再度お送り頂ければ幸いです。

やはりリバックアップは常にとらないといけないと今回の事で痛感しました。幸いこの編集作業はMACの方でやっていたので助かったんですが、こちらはこちらで色々問題がおこり（後のフリートークで書きます）、かなり凹んだ状態で編集作業を進めていますが、何はともあれやっとの事で終わりが見えてきたんで、今は少しは胸を撫で下ろしているところです。

前書きが長くなりましたが、それでは本編をご覧下さい。

CONTENTS

003	SUB COVER
004-005	INTRODUCTION
006	CONTENTS
007-026	RURU-MANGA
027-030	HAVE DRAWN
031-033	RURU-CUT LITERARY
034-036	ORIGINAL CHARACTER
037	POSTSCRIPT
038	IMPRINT

私が初めてガードとして
シン討伐に参加したのは
16の時
黒魔導師としてまだ駆け出しの私は
召喚師様直々の指名で
今回の選抜メンバーに選ばれた



今回の様に女性ガードが
シンとの対決までの間
召喚師様に帯同する場合
戦闘でお護りする以外に
大切な役割が与えられている

それは長きにわたる
シンとの戦いの歴史の中で
いつしか
結核の了解となっていた



それでもシンを倒し
次のナギ節を迎える為と思えば
当時の私は何の迷いもなく
その行為を受け入れた
むしろ名譽な事にすら思えた
少しでも役に立ちたくて
必死だった





初めての経験はただ痛いだけ
だったのを覚えている
どうする事もできない私は
されるがままに
下から激しく突き上げられ
少しでも早く射精して終わるのを
待つ以外になかった……



なんで…こんな…
召喚師様だけって
聞いてたのに…

だいたい
今日だって

戦闘では
足手まといに
なるは

ズアア

先輩ガードの
ものまで
なんて…

ドジ
踏むわで

はあ

んツ…

ちゃんとその分の
お返しを
して貰わねえとな

そんなツ…

やッ

そこは…
違ッ…

へへ…さうだな
これからの事考えたら
一つじゃ
おっつかねえもんな



ああああ...

こ……こんな
おしりの穴で……
しかも
2本同時に……なんて



スト

ヒツ



そんな……

おいッ
お前らあんまり
無茶するんじゃないぞ

あッ

彼女是我々の
大切な仲間
なんだからな

やッ



わかってますけど……
こいつにはこれからの
他々とお世話に
なりますからね……

おおッ
気持ちイイ……

んんッ

おおッ

フッ

んんッ

んんッ

すげッ……
もっ……



森の中だろうが
路地裏だろうが
はたまた洞窟だろうが
行為をするのに
場所は関係なかった



彼らは
ただ欲望の赴くままに
自らの汚汁を
私に浴びせ続けた





そんな生活にも
やがて半年の月日が流れ
ついに私達はシンとの
対決を迎える日を
迎える事となる…その日の朝



後で知ったのだが
今回の様なケースは
珍しい事でも
なんでも無いらしい

シンとの対決を
間近に控え
暴風風に吹かれて
逃げ出す者は
後を絶たないという

ああッ

あッ

おッ

また当初から計画的に
行っている連中も
いるという話まである
若くてまだ能力の低い
女性ガードを仲間に加え
行為を強要する

ただそれのみを
目的に
旅を続ける……

いずれにせよ
私の初めてのシン討伐の旅は
こうして終わった

— 完 —

Written by munehito
MAIN CAST : RURU



■ルールー/パイズリ1ページ分/総パイズリー劇場

これは戻る戻る「ページ分の絵です。髪を染めている正解のルールーなので本編の連動には使いませんでした。僕はこれを総パイズリって呼んでるんですけど、正式名称とかあるんでしょうか？誰か知ってたら教えて下さい。しかし最近目と比べたら、パイズリを描く作家さん増えてきましたね。それでもかなり狭いエリアですけど…。やっぱり、どっちかっていうとマイナーな行為ですよ。一体どのくらいのニーズがあるのか。空想実験の本を買ってくださってる方って、何目当てなんでしょう？一度統計取りたいです。

CONTINUATION

LITERARY 雑文

■オジサンと1/2サイズの子供の恋
この子は母に母を愛せずには居られず、
あえて言うところではロマンチックなテーマに
関わらせて新しいレイアウトの装束にしたいわ
思ったくらいで、ぜんぜん出ていないです。

DVDとCD

最近、少しずつですが好きなアニメや懐かしい音楽を始め始める様になりました。

もともとあんまり、それらの類の物は買わないんですが、何年か先見たくなくても見れなくなる可能性もあるので、今の内に揃えておこうと思ったわけです。

僕が住んでいるのは京都の南の方なので、近くには車で10分程のところには平等院鳳凰堂、京都ハイブルサングラの練習グラウンドがあります。都心に行かないとなかなか品揃え的に難しく、専らインターネットで探して購入という方法で入手しています。

といっても、そんな古いものってわけではないので、今ならばほぼ普通に入手できるものばかりです。けど………ただどうしても手に入らない、というか世の中に存在してはいるかどうかわからない物もあるんで、知ってる人いましたら教えて頂けるとありがたいです。



いよいよW杯です。サッカー歴戦の僕としては楽しみこの上なしです。今日これを書いてる日、1度「日本VSウクライナ」戦があって「1-0」で勝ったには勝ったんですが、内容とホームつてことを考えるとちょっと不安です。相手の方が、トラップ、ワンタッチコントロール等、上手かったですしシエフチェンコ抜きだし...

海外組と対戦しての次ぎのポーランド戦が重要みたいですが、個人的にはパラグアイに行ってた広山とか好きなんですけど、代表候補にも選ばれませんでしたね。まあサッカーに興味ない人は例の事やらと思えますが、この本が出る頃にはW杯まで一ヶ月ちょいってとこでしょうか。

ここで勝手にW杯のメンバーを予想してことで、外れてたら笑ってやって下さい。これでW杯までにはこの本を出さないとイケなくなっちゃわけて...多分出てると思うんですけど「千夜」

(ベルギー戦 予想先発メンバー)

高原	鈴木
森島	市川
小野	戸田
稲本	中田
森岡	松田
川口	

(ロシア戦 予想先発メンバー)

高原	細沢
中田	渡戸
藤部	戸田
稲本	中田
森岡	松田
川口	

(チュニジア戦 予想先発メンバー)

高原	森島
中田	小野 (市川)
三都州	稲本
名波 (戸田)	中田
森岡	松田
川口	



■オリキャラ?4/ブラ付きバイスリ&ぶっかけ

これは歩〇さんの「う〇チョン日記」を見て描いてしまったものです。なぜって感じてしょうけど、描いた僕自身なんで?って思ってるくらいなんで描いた動機は未だに謎です。



映画「ロードオブリング」は名作？それとも駄作？

いわゆる「指輪物語」ですね。現在のRPGの元となった「ウィザードリィ」の世界観、体系を作った物語、テーブルトークをやった人間ならみんな知っているよね。指輪を操るってかっこいいよね。その「ロードオブリング」の面白さの理由「なんでも」の「指輪物語」が映画化されるって聞いたときには、かなり興

激しました。

それで僕らの感想ですが、正直すごく複雑でした。これは原作とか世界観を知らない人が見てわかる人の中では、そもそもこの作品が3部作って事自体知らない人多いみたいですよ。ちょっと僕の後ろで見た人が、「わけわからん」って言ってましたけど、あ

■映画「ロードオブリング」(R)
「空想小説」の「3」が出来た後の新しいもの、制作バージョンです。



ティファゴッドオブアングワ/18F (R)
これは上のアテナと同じくらいの特典に多いと思う。一番おもしろいコスチュームが多いです。(覚えておいてね)
こうやって一つのシーンに組み込まれた状態で人も驚くとばかりでなくなってきた。いちばん面白いのは、想像力からの子つのみを置く方法。でもこれだとリアルじゃなくならし、本当は想像しないで見ておくのがいいでしょうけど、そこあんまりしっかり描き過ぎると中心の女性キャラが見えなくなったり。いい、面白いです。

なま正解です。わからないという感想が最も自然なわけだと思いましたが、3部作といつても、それでも原作から見るより別はカットしてありましたが、「上映の時間的問題で、せいぜい映像がすごいという感想くらいしか出てこないのではないかと感じました。
それでも僕個人には最高でした。対トロールの戦闘シーンや、エルフの村使いのかわささといつたらもう、よだれたらだらもんです。特にバルログの映像化は当時僕が思い描いていた姿そのものだったので感動してしまいました。

面白くは、そこそこいいんでヒットしてくれて、3部作は、3部目がちゃんとして映されます事を祈っています。
C位とかではアカデミー賞ノミネート3部門とかって騒がれてますけど、見終わった瞬間は「ハリーポッター」とは違って、早々と打ち切りになるのは、心配で仕方ありませんでした。さてさてどうなる事やら...、早く次回作を見せて下さい。

■ティファ/FFVII/ハイブリッド

久しぶりのティファです。これこれ「空想実験Vol.1、2」
以来書いてないんで、3年ぶりくらいでしょうか。

久しぶりに書いてみたら、髪型と顔とかがかなり忘れてて
結構ショックでした。でも書いてみるとそこそこそれっぽく
見えるもので、喜ばった件柄です。

ティファはというと、相変わらず胸の黒髪が長くなってま
す(笑)、顔では分かりにくいですが、後ろの髪はすげまで
切ってます。どうしても/ンティをそのまま描いたかったん
で、こうになりました。

まだ機会があれば描きたいキャラです。



**Founded in 2002
Extra series vol.1**

**Written by Munehito
Circle Kuusou Zikken
Presents**

For Adult Only



R18